

平成21年度 事業概要及び報告

1 はじめに

当財団は、設立趣旨ならびに寄付行為に基づき、首里城に関する展示資料の収集等を目的とした首里城基金が設置され、基金の造成、管理及び運用の諸事業を実施している他、首里城に関する調査研究、普及啓発等の事業を行っている。詳細については、下記のとおりである。

2 財団の事業概要 (一部抜粋)

◆首里城に関する調査研究事業

- (1) 在外首里城関連文化財の調査研究
- (2) 正殿漆塗装関連資料の調査研究
- (3) 首里城修復材等の調査研究
- (4) 琉球楽器楽曲の調査研究
- (5) 御供飯の調査研究 (御供飯の復元製作)
- (6) 首里城正殿三御飾等道具の調査研究
(道具類の製作及び往時の製作技法の復元)

◆首里城に関する普及啓発事業

- (1) 琉球王国関連の資料の展示
- (2) 図録や小冊子等印刷物の発刊
- (3) 職場体験、研修生等の受け入れ
- (4) 首里城見学会及び体験学習会の実施
- (5) 清代中琉関係档案の刊行助成
- (6) 地元団体との連携事業の実施

◆その他の事業

- (1) 共同研究事業の実施 (大学等)

3 平成21年度事業報告

1) 首里城に関する調査研究事業

(1) 首里城の歴史、伝統美術品等に関する調査研究

かつて首里城や王家で行われていた諸儀式、年中行事等の再現を目指し実施してきた尚家関係者へのヒアリング結果をとりまとめた。また、在外の博物館等が所蔵している首里城関連文化財について、有識者へのヒアリング等を実施した。

御座楽衣裳調査では、琉球楽器演奏の様子が描かれている絵図資料の事例調査を実施し、衣裳復元に向けて情報整理を行った。

萬野コレクションに関する調査研究では、琉球漆器14件について透過X線等を用いて構造及び成分解析を行った。これで萬野コレクション全62件の基礎調査が完了した。

琉球漆器「御供飯」の複製品制作として、木地本体及び内容品の下地塗りを実施したほか、内部に収納されているお椀の加飾図面を作成した。

(2) 首里城正殿漆塗装材等に関する調査研究

正殿等復元建造物の維持管理技術に関する調査研究では、漆等塗装材として使用する赤土の焼成分析のほか、桐油等の塗料の安定化に関する調査を行った。

(3) 首里城公園管理運営検討業務

首里城公園の管理運営や調査研究事業方針のあり方等について検討を行うため、学識経験者等から構成する委員会を開催し、今後収集する美術工芸資料等について審議した。

(4) 共同研究

首里城に関する調査として、浦添市美術館と共同研究を行った。

「萬野コレクション資料解析調査」

2) 首里城に関する普及啓発事業

(1) 展示会等の開催

- ① 子供たちに琉球の文化に触れてもらうことを目的に、「首里城探訪」と題し、首里城見学会及びものづくり体験会を開催した。
- ② 沖縄の歴史文化に関する知識の普及啓発を推進するため、県内の小・中学生の歴史文化学習に対し助成を行った。
- ③ 首里城公園の支援団体である「首里城公園友の会」が主催する文化講演会、イヌマキ育樹等の事業実施に対して助成を行った。

(2) 印刷物等の発刊

清代の首里城及び琉球の海外交易史等に関する資料集として「清代中琉関係档案第7編」を刊行した。